

NEWS RELEASE

2017年4月28日
株式会社三菱総合研究所

2017年1-3月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より5月18日(木)に公表予定の2017年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行った。

2017年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.6%)と5四半期連続のプラス成長を予測する。好調な輸出に加え、消費も底堅く推移しており、内外需バランスのとれた成長となろう。

消費は、良好な所得環境や消費者マインドの改善を背景に、耐久消費財を中心に持ち直しの動きを続けており、同+0.2%と5四半期連続の増加を予測する。住宅投資は、貸家の着工が依然として高水準で推移していることから、同+0.5%の増加を見込む。設備投資は前期の高い伸びの反動から、同▲0.1%の減少を予測するが、均してみれば緩やかに回復している。

輸出は、世界的なITサイクルの改善、アジアの内需持ち直しなどを背景に、アジア向けを中心に回復しており、同+1.7%と3四半期連続で高い伸びを予測する。一方、輸入は同+0.6%と、輸出に比べれば低い伸びに止まる見込み。結果として外需の寄与度は+0.2%pと予測する。

表 2017年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りが無い限り 季節調整済前期比(%)		2016年			2017年
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		0.5	0.3	0.3	0.4
	季節調整済前期比年率	(2.2)	(1.2)	(1.2)	(1.6)
民間最終消費		0.2	0.3	0.0	0.2
民間住宅投資		3.3	2.4	0.1	0.5
民間企業設備投資		1.4	▲0.1	2.0	▲0.1
民間在庫	寄与度	0.3	▲0.3	▲0.2	0.1
政府最終消費		▲1.1	0.2	0.3	0.3
公的固定資本形成		1.0	▲0.9	▲2.5	0.3
財・サービス輸出		▲1.2	2.1	2.6	1.7
財・サービス輸入		▲1.0	▲0.3	1.3	0.6
内需	寄与度	0.6	▲0.1	0.1	0.2
民需	寄与度	0.7	▲0.1	0.1	0.2
公需	寄与度	▲0.2	0.0	▲0.1	0.1
外需	寄与度	▲0.0	0.4	0.2	0.2
名目GDP		0.4	0.1	0.4	▲0.3
	季節調整済前期比年率	(1.4)	(0.5)	(1.6)	(▲1.1)
GDPデフレーター	前年同期比	0.4	▲0.1	▲0.1	▲0.9
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.7	▲0.8	▲0.3	0.1

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2016年10-12月期2次QEに基づく。シャド一部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 (<http://www.mri.co.jp/>)
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩

電話:03-6705-6087 ファクシミリ:03-5157-2161 メール:morisige@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、渋谷、角田

電話:03-6705-6000 ファクシミリ:03-5157-2169 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。